

障害者政策委員会 第3小委員会（第2回）

資料一覧

- 資料1 論点②【28条①】選挙等における必要な配慮の提供、
成年後見制度と選挙権についてに関する総務省資料・・・ 1
- 資料2 論点②【28条①】選挙等における必要な配慮の提供、
成年後見制度と選挙権についてに関する委員意見・・・・ 5
- 資料3 論点③【28条②】公的活動への障害者の参画の拡大
（審議会委員への登用の促進等）に関する事務局資料・・・ 21
- 資料4 論点③【28条②】公的活動への障害者の参画の拡大
（審議会委員への登用の促進等）に関する委員意見・・・・ 23

でんしとうひょう
電子投票について

たいしょう せんきょ
○対象となる選挙

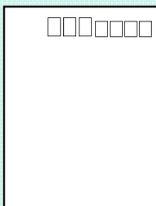
じょうれい さだ ち ほうこうきょうだんたい ぎ かい ぎ いんまた ちょう せんきょ
条例を定めた地方公共団体の議会の議員又は長の選挙

○メリット

せんきょけつ か はんめい じんそく せいかく ゆうけんしゃ いし せいかく はんえい ぎもんひょう
①選挙結果の判明が迅速かつ正確、②有権者の意思を正確に反映（疑問票・
むこうひょうかいしょう じしょ こんなん ゆうけんしゃ ようい とうひょう
無効票解消）③自書が困難な有権者も容易に投票

① [受付]

とうひょうように入場券の持参等
選挙人名簿との対照による本人確認



② [電子投票による投票]

- ア. 候補者選択
- イ. 選択した候補者を確認
- ウ. 投票内容を電磁的記録媒体に記録

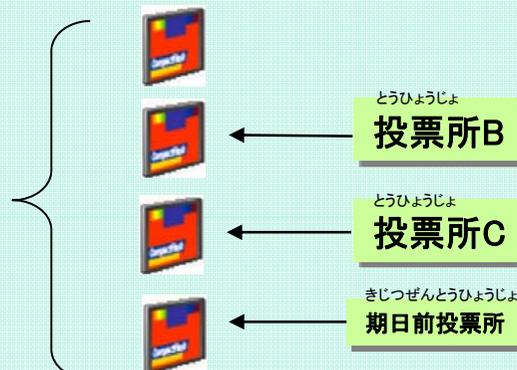
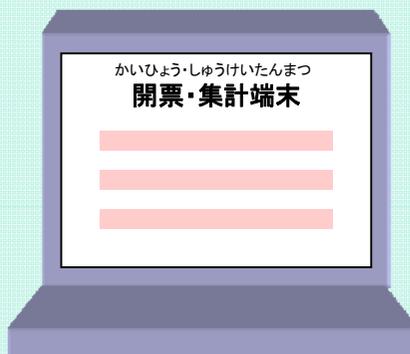
しちょうせんきよ
○×市長選挙

○森 △太	△川 ※代
△原 ○郎	○野 △子
	☆山 △男



せんきよけつか
[選挙結果]

当	○野 △子	1,000
当	☆山 △男	800
当	○森 △太	750
当	△川 ※代	700
	...	
	...	
落	△原 ○郎	200



⑤ [結果]

候補者ごとの得票数を計算
不在者投票等の結果と合わせて報告

④ [集計]

全投票所のデータを集計

③ [終了]

全投票終了後、電磁的記録媒体を開票所へ送致

○代理投票制度、操作補助制度

代理投票制度：身体しんたいの故障こしょう又は文盲もんもうにより電子投票でんしとうひょうが出来ない場合に、投票管理者とうひょうかんりしゃに申し立てることで、立会人たちあいじんの下、選挙人せんきょにんに代わって代理者だいにりしゃに投票機とうひょうきを操作そうさ・投票とうひょうさせることができる。

操作補助制度：投票機とうひょうきの操作そうさが困難こんなんな場合には、投票管理者とうひょうかんりしゃに申し立てることで、立会人たちあいじんの下、投票機とうひょうきの操作そうさの補助ほじょうを受けることができる。

※点字投票てんじとうひょうは電子投票でんしとうひょうの対象外たいしょうがいのため、代理投票だいにりとうひょうを行うか、投票用紙とうひょうようしによる点字投票てんじとうひょうを行う。機種おこなによっては音声ガイドきしゆによる投票おんせい（イヤホンとうひょう、コントローラしょうを使用かのう）も可能。

○コスト

電子投票機でんしとうひょうき（レンタル1台概ね7万円）＋SE人件費だいおおむや周知・啓発費まんえん等（団体じんけんひ規模等しゅうちによる）けいはつひどう だんたい きぼどう）

○技術的問題

過去の選挙かにおいて、投票機こが動かなくなるなどの問題せんきよが発生したが、信頼性とうひょうき向上うごの取組として、電子投票導入もんだいの手引きはっせいの作成しんらいせい、電子投票システムこうじょうの技術的条とりくみ件でんしとうひょうの見直しどうにゆう、電子投票機ての技術的条さくせい件でんしとうひょうへの適合確認でんしとうひょう・公表ぎじゅつてきじょうけんを行みなおっているところであり、現在でんしとうひょうきにおいては、トラブル等ぎじゅつてきじょうけんの報告てきごうかくにんは受けていない。こうひょう おこな げんざい とう ほうこく う

障害者に係る投票環境向上に関する取り組み状況

平成22年度に「障がい者に係る投票環境向上に関する検討会」を開催し、障害者の投票環境向上のための具体的方策について検討し、その結果を踏まえ平成23年4月の統一地方選挙に際して、全国の選挙管理委員会に必要な取り組みを要請したところであり、総務省においても引き続き必要な取り組みを進めている。

1 政見放送への手話通訳の付与

平成23年4月以降に実施される都道府県知事選挙においては、候補者から申し込みがあったときは、政見放送に手話通訳を付すことができることとした。なお、平成23年4月以降、実施されている20都道府県知事選挙（平成24年9月1日現在、無投票除く。）すべてにおいて手話通訳が付与されている。

2 政見放送への字幕の付与

平成25年に実施される参議院議員通常選挙の比例代表選挙から、参議院名簿届出政党等より申し込みがあったときは、政見放送に字幕を付すことができることとし、現在、障害者関係団体との意見交換を踏まえ、NHKと技術的な問題点等について打ち合わせを重ねているところ。

3 点字又は音声による候補者情報（選挙のお知らせ版）の提供

点字又は音声による「選挙のお知らせ版」について、視力に障害のある方の意向に沿うよう、点字版だけでなく音声版（CD、カセットテープ、音声コード付き拡大文字版）についても、必要数、準備するよう全国の選管に要請。

【参考】点字又は音声による候補者情報の提供状況

平成22年執行の参院選では、点字版は比例代表・選挙区とも全ての都道府県において、音声版は比例代表では全ての都道府県、選挙区では41都道府県において配布された。

平成23年4月以降に執行された20都道府県知事選挙（平成24年9月1日現在、無投票除く。）では、点字版は19都道府県（前回選挙：20都道府県）、音声版は19都道府県（前回選挙：8都道府県）において配布された。

4 投票所のバリアフリーなど投票環境の改善

投票所のバリアフリーについては、支障となる段差がないか、設置したスロープの勾配は適正か、すぐに職員が対応できる体制となっているかなど、障害者や高齢者の方々の視点に立って再度点検を行い、必要な措置を講ずるとともに、中山間地域等における高齢者や障害者の方々など、投票所への移動が困難な方々の投票機会の確保のため、巡回バスの運行などについて、十分配慮するよう全国の選管に要請した。

【参考】平成22年参院選における投票所の段差解消への対応状況

投票所50,311カ所のうち、入口に段差があるものや投票をする場所が入口と同一フロアにないものが28,361カ所あり、このうち段差解消等の措置がなされていないものが52カ所（措置率99.8%）であった。